

盂蘭盆会施餓鬼法要のご案内

拜啓 盛夏の候 ご尊家益々ご清祥の段大慶至極に存じます
 当山 左記により 例年の通り 盂蘭盆会施餓鬼法要を厳修致します
 ので万障お繰り合わせの上 ご参詣賜りますようお願い申し上げます

合掌

平成二十五年盂蘭盆会施餓鬼法要
 日時 八月十六日（金）
 午後一時より

粗飯を準備しておりますのでお召し上がり下さい

塔婆供養のお申し込みは**同封の葉書**にてお早めにお願致します

尚、塔婆申込葉書 **到着順**にご供養させて頂きます

安住山 円乗寺

盂蘭盆会施餓鬼法要とは

※冷暖房が完備されました。以前より快適に参拝頂けますので、家族揃って是非ご参詣下さい。
 盂蘭盆とは梵語のウランバナ (Ullambana) を音訳したもので、「逆さ吊り」という意味です。供養を受けられず、逆さ吊りの責苦に遭っている先亡の霊を救うための法会が盂蘭盆会です。

お釈迦さまの弟子で神通力第一といわれた目連がその神通力で母親の姿を見たところ、亡くなつて餓鬼道に堕ちていることがわかり、目連は母親を救うため、お釈迦さまに教えられたとおり、僧たちをもてなし、その**功德**によって**母親を餓鬼道から救い出すことができた**という『盂蘭盆経』の故事に由来しています。

施餓鬼会は、六道のひとつ**餓鬼道に堕ちて苦しんで**いる**無縁仏を供養する法会**です。

お釈迦さまの弟子の一人、多聞第一の阿難は餓鬼に死を予言されましたが、お釈迦さまに教えられた陀羅尼を唱えながら**餓鬼に食を施したところ、福德の寿命を増した**という故事に由来します。

円乗寺では、この盂蘭盆会と施餓鬼会とを兼ねて行っています。

散

散華とは

華とは 本来は本堂を清めて荘厳にする為にまかれる蓮の花びらの事を指します。

です。心身共に清められて、佛様のご加護を授かり、病や災難から身を護って頂けると言う事です。



平成18年 円乗寺散華

法華経 化城喻品第七には『散華以供養』とある。



も華散な

作 ももくらさ

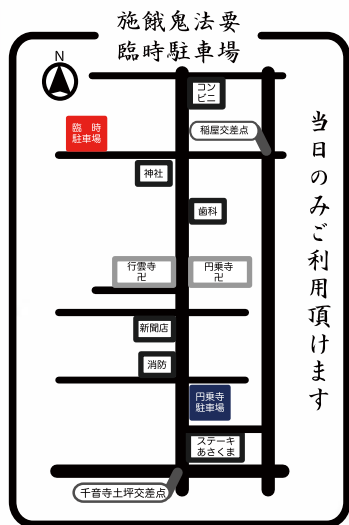
作 見散華 稚納奉師薬

作 かしせなや



お参りになる度に**持ち帰り**、これだけお参りをしたという証として臨終の時に棺の中に添えられる方もいらっしゃいます。

梵語・お経の漢訳前の言語（サンスクリット語） 餓鬼道・六道・三悪道の一
 梵天がつくったと伝えられたことから梵語 飲食が自由にならず、飢えに苦しむ世界
 法会・説法・読経・修法などの仏事を行い 陀羅尼・教えの精髓を凝縮させて含んでいるとされる言葉
 死者を供養したりするための集会 のまま唱える



当日のみご利用頂けます